

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
平成25年度第2回中小企業支援専門部会（概要）

日 時 平成25年10月31日（木）10:00～11:30
場 所 県民会館701号
議 事 (1) 平成24年度富山県中小企業振興施策の実施状況について
(2) 最近の県の産業振興施策について

委員からの主な意見

- ・ 就業人口の減少、労働力の県外流出による人手不足問題に対応するため、障害者雇用の振興をもっと考えてほしい。また、子供が地元で就職したいと思うように義務教育に職業教育を入れる必要がある。
- ・ 人材の育成の前に人材の確保に苦労している。大学とも連携してインターンシップを実施したが、こういった取組みに支援してもらいたい。製剤、技術者の採用が難しいため、業界を定年した人材の登録制度を設けたらどうかと考えている。ご協力願いたい。
- ・ ものづくりは単年度でできるものではないため、2～3年の継続した補助金をお願いしたい。補助金で投資をして、作業の効率化を進めることができれば、空き時間ができる。人材育成は空いた時間を作らないとできない。
- ・ 小規模企業では、長期的な視点で仕事をさせ、人材育成をすることが難しい。大企業を定年で辞められた方を何らかの形で中小企業と連携してもらえるようにならないか。人材育成と併せて支援をしてほしい。
- ・ 若手採用を手控えてきたためか、各種研修事業への出席率が悪い。技能検定もやっているが、企業内の指導力が落ちているのではないかと感じることもある。いろんな支援を手厚くしていただきたい。
- ・ 人材育成事業への参加人数が増えない。曜日や時間の工夫をしていただきたい。
- ・ 中小企業支援センターにおける融資の相談は減少してきた。一方、補助金やビジネスプランの相談が増えており、設備投資意欲の若干の改善が見られる。この動きを確実なものにするため、引き続き、企業の技術革新に対する支援、人材育成、産学官連携に支援をお願いしたい。
- ・ アベノミクス効果は二極化している。海外進出しているところ自動車等関連企業の発注が圧倒的に多く、関連企業だけが景気がいい。国内で開発指向型事業をやれるような支援をしていただきたい。

- ・地元企業の受注機会の拡大のため、入札制度の基準の見直しを検討いただきたい。
- ・市場価格と連動して予定価格を設定していただくようお願いしたい。
- ・新規事業への補助ばかりでなく、現在やっているもので集客に効果があるものをブラッシュアップするような助成にしてほしい。
- ・企業誘致型よりも地域資源を活用する支援が重要でないか。15市町村で、地域の産学官金で連携してやってほしい。
- ・税制面での優遇を得られる特区の取組みを検討いただければどうか。
- ・再開発エリアに商業施設の出店がなく、マンションが多い。県立大学の分校や病院の分院を中央にもってこることができれば町の活性化に役立つ。県の施設で中心部に持ってくるができるものがあれば、検討いただきたい。
- ・化学工業会は比較的大きな企業の集まりなので、まずは、調達で中小企業と連携できる。富山県は周辺企業の集積があるので、ビジネスマッチングの仕掛けを頼みたい。